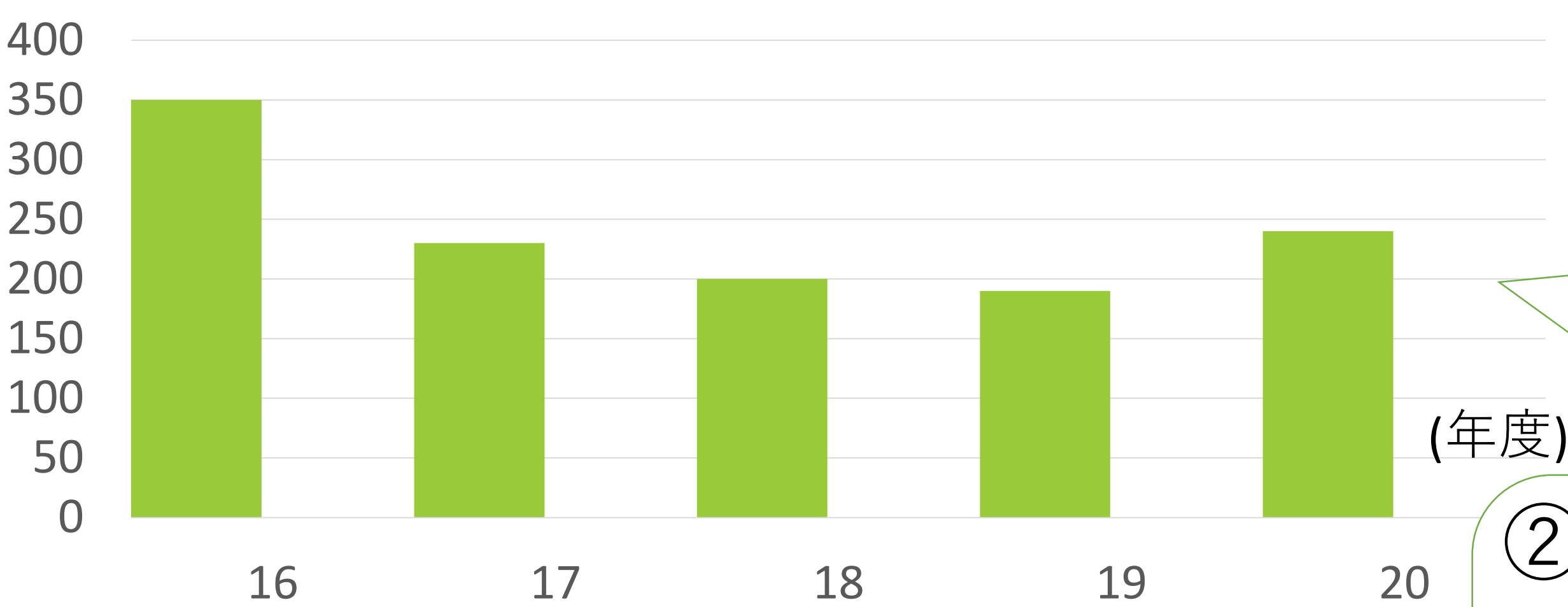




茶道人口を増やすには？



(万人) 茶道に関わったことがある人



①現状

(レジャー白書2017より)

年々減っていている。また、一度でも茶道に関わったことがある人の数値のため、習っている人数はもっと低い。

②問題

- ・大事な日本文化を継承できない
 - ・「おもてなし文化」の衰退
 - ・茶道に関連した文化（畳・和菓子など）の衰退
- ……など。

③仮説

茶道の**魅力が伝わっていない**こと、茶道に対しての**先入観がある**こと、新規に**若い人**が習い始めていないことなどによって茶道を習う人数が減っているのではないかな？

⑥成果

手紙だったため、あまり緊張せずに聞きたいことを聞いて良かった。ただ、会員数の推移を教えていただけなかったことが残念だった。

しかし、これまでにやってきた先行事例を見て、やはり**若い人**に向けた活動のほうの結果として茶道人口が増えやすいということが分かった。ここまで大きなプロジェクトは現実的に見て厳しいが、参考にできる部分も多くあった。

⑦理想の状態

若い人に茶道に関心を持ってもらう！
(できれば習ってほしい...)

動画の内容（予定）

【音】

- ・お湯が沸いている音
- ・金属製の器に水が注がれる音
(水が注がれているときと、お湯が注がれているときの違い)

【匂い】

- ・畳の匂い
- ・抹茶の匂い



④フィールドワーク

場所 茶道裏千家淡交会

日時 2020年2月12日

方法 手紙（質問文章を送った）



⑤質問内容＆回答

- ・茶道裏千家淡交会会員数の推移
→開示していなかった。
- ・茶道裏千家淡交会が会員数を増やすためにこれまでにやってきたこと
→・幼稚園でのお茶ごっこ・中学・高校での茶道の体験授業、茶道部の設立
・茶道裏千家淡交会青年部の設立

⑧アクションプラン

①アンケートの実施

- ・みんなの趣味の好きな理由を茶道にも当てはめる
- ・悪いイメージを改善する案、良いイメージをさらに押し出していく案の提案

②私が素敵だなと思う音を録音して動画を作る。

③私が好きな匂いを伝える (方法は考え中。多くの人に伝えることは難しいかもしれない)

<アンケート内容>

- ・趣味は何か？
- ・その趣味を好きになったきっかけと理由は何か？
- ・茶道に興味があるか？
- ・茶道にどのようなイメージがあるか？

⑨今後の課題

- ・「音」に関して、動画の音源は録音したが技術がなく、編集ができないため、他人と協力するか編集方法を勉強する。
- ・「匂い」に関して、アクションプランが思いつかない。匂いを幅広い人に伝える方法を過去の実験を参考に考える。

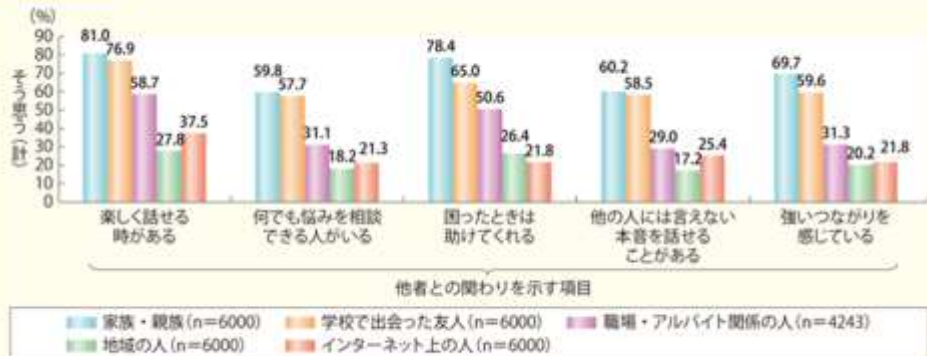
地域の方との親交を深める

1. 動機

地域内での交流、挨拶の減少など、スマートフォンなど電子機器のよってコミュニケーション能力が低下していると感じたから。

以前、地域の方にあいさつをされたとき、地域の方とのつながりがとても重要だと思ったから。

図表4 対象別のつながりの強さ



(注)「そう思う」「思う」は、「どちらかといえばそう思う」の合計。

引用：平成28年度 内閣府 「特集 若者にとってのつながり」

3. フィールドワーク

場所：登別市役所

日時：2020年8月21日

対応者：煤孫さん

【質問】

- ①幌別地域の地域交流についての現状
- ②一つの作品を地域の大人と子供で協力して制作（合作）することは可能か

【回答】

- ①幌別地域は地域交流は少ないが、交通安全指導などのボランティアで、少し交流はできている。交流がしやすい環境を作るため、花壇の整備など、景観づくりをしている。
- ②作品を作るということは可能だが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、大人数で集まるということは難しい。Be Smile プロジェクトでの実行を検討する。

2. 現状

内閣府が平成28年に行ったアンケートでは、地域の方よりもインターネット上で知り合った人とのつながりのほうが強いと感じているという結果が出ている。幌別地域でも地域交流など、地域内で交流する機会はほとんどない。

4. Be Smile プロジェクト

私たちは、地域の方と作品を作り上げるということを目標に、Be Smileプロジェクトに参加した。実際に集まって作品を作ることはできなかったが、私たちの案を踏まえ、密にならないよう、来場者に協力していただき、モザイクアートを完成させることが出来た。



私たちの理想の形ではなかったが、目標を達成することが出来た。